

# 市政を問う 一般質問要旨

## 一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。一般質問(要旨)につきましては、議員ごとにまとめたものを掲載しております。

これまでの会議録は、小平市議会ホームページで、閲覧・検索ができます。動画もご覧になれます。



**オリンピック・パラリンピックに浮かれるな**  
伊藤 央議員(一人会派の会)

オリンピック・パラリンピックに浮かれるな

質問 ①これまで東京2020オリンピック・パラリンピック関連で市が支出した費用の金額は。  
②近年、オリンピックの過度な商業主義化への批判があるが、商業化したイベントへ市が公金を支出することに対する見解は。  
③メダル争いやそれにまつわる過度な報道がアマチュアスポーツの勝利至上主義を招いているという指摘に対する見解は。  
④IOC、JOCの小平市に対する貢献、及びFC東京の小平市に対する貢献は。

市長 ①平成27年度から30年度までで約2億3千4百万円。うち市負担分約1億1千7百万円。  
②放送権高騰等の商業主義化が問題となっていることは認識している。市としては共生社会の実現につながると考えている。  
③勝利至上主義が顕著にあらわれていることは認識しているがオリンピック精神はよりよい世界実現への貢献とされている。  
④IOC等の貢献は特にならない。

質問 ①小学校全校への吹奏楽クラブ設置で、さらなるレベルアップを目指すことへの見解は。  
②楽器寄附ふるさと納税で楽器の拡充を図ることへの見解は。  
教育長 ①学習指導要領では、教科的な色彩の濃い活動を行う組織にならないこと、学校等の実態を踏まえること等が示されており、児童が自主的、実践的に取り組む時間であることから、全校一律の設置は考えていない。  
②現時点では活用は考えていないが、児童・生徒の教育環境を充実するためのふるさと納税



**小・中連携教育へ吹奏楽のまち こだいらの活用/防災意識向上**  
山田大輔議員(政和会)

吹奏楽のまちこだいらを小・中連携教育推進に向け活用すべき

質問 ①小学校全校への吹奏楽クラブ設置で、さらなるレベルアップを目指すことへの見解は。  
②楽器寄附ふるさと納税で楽器の拡充を図ることへの見解は。  
教育長 ①学習指導要領では、教科的な色彩の濃い活動を行う組織にならないこと、学校等の実態を踏まえること等が示されており、児童が自主的、実践的に取り組む時間であることから、全校一律の設置は考えていない。  
②現時点では活用は考えていないが、児童・生徒の教育環境を充実するためのふるさと納税

質問 ①新たな自治会発足と既存の自治会活動への取り組みは。  
②防災対策等の観点で既存自治会と市の連携対応の総括は。  
市長 ①自治会ハンドブック等において自治会発足手続の情報掲載するなど支援をしている。また、自治会地域懇談会等の機会を捉えて情報共有等を行い、自治会同士や地域のさまざまな活動団体との連携を進めている。  
②自治会地域懇談会等の機会を捉え、防災の取り組み等をテーマにした情報共有など総合的な支援と連携に取り組んでいる。



**玉川上水の魅力/自然災害対策/学校給食センター更新事業**  
幸田昌之議員(市議会公明党)

小平の財産である玉川上水の魅力をもっと引き出すために

質問 史跡玉川上水整備活用計画の成果と課題は。  
市長 都からは、倒壊のおそれのある高木対策等おおむね計画どおり実施し、課題は保護等にさまざまな意見があるので、計画期間終了後も引き続き整備する必要があり、聞いています。  
自然災害の脅威に備える対策を早急に進めるべき

質問 ①学校給食センター更新事業の今後のスケジュールは。  
②学校給食センター更新事業の建てかえ工事中の代替給食は。  
教育長 ①事業内容等を検討しており当初の日程と大きな変更なく更新ができるよう調整中。  
②献立作成等は市が行い、調理は民間委託で検討してきたが入札が不調となり、建てかえスケジュール等の調整を踏まえ改めて開始時期等を知らせていく。

質問 近年、変化する災害に対する上下水道や電線など生活インフラの整備対策の見解は。  
市長 台風等で大規模停電が起



**鷹の台駅周辺のまちづくり/利用者満足度を高めるスポーツ施設**  
福室英俊議員(政和会)

鷹の台駅周辺にまちづくりに関して

質問 ①三菱UFJ銀行鷹の台出張所跡地北側の公園に関して、駐車場等として整備できないか。  
市長 ①36玉のうち11玉点灯しており、約3割の稼働率である。  
②問題点の抽出及び整理、計画図の作成、概算工事費の算出などを行っている。  
③手法等さまざまな事項を勘案の上、調査、研究していく。  
【掲載分以外の質問項目】  
○FC東京のホームタウン小平としてのプレゼンスを高めよう  
○防災・減災の取り組みを問う  
○職員の休日出勤をなくす働き方改革を進めよ  
○愛の鞭ゼロ作戦の取り組みは

質問 ①小平第六小学校の夜間照明の稼働率は。  
市長 ①跡地の用地取得が実現した際には、駅前広場整備について検討を進めていく。  
②具体的な検討は行っていない。

質問 ①郷土こだいらを教材とした小・中学校での教育機会は。  
②小平ふるさと物語を教材とした小・中学校での教育機会は。  
③郷土愛を育む取り組みは。  
④人生の功労者である高齢者の話を聞く場の必要性は。  
⑤小平弁を小平の文化として大事にしていく考えへの見解は。  
教育長 ①平成30年度の社会科の歴史の授業で中学校は1校使用、小学校では使用していない。  
②平成30年度の社会科の歴史の授業において小学校は1校使用、中学校では使用していない。



**小平の郷土史、小平弁・方言を文化として後世に引き継ぐため**  
小野高一議員(政和会)

小平の郷土史、小平弁・方言を文化として後世に引き継ぐため

市長 ③各種の伝統行事や地域の食文化の再現、伝統的な遊びの継承などのほか、鈴木ばやし保存会での後継者の育成や、郷土研究会の活動支援等している。  
④小平ふるさと村における伝統的な遊びの継承の場や小平の民話等を語り聞かせる事業など、高齢者の話を聞くことができる機会をさまざまなにある。こういった取り組みは、郷土への愛着につながるものと認識している。  
⑤方言といった語り言葉は、地域の貴重な文化の1つと捉えており、小平市史民俗編で取り扱っているほか、小平ふるさと物語などの資料集でも記録して販売するなどしている。

質問 ①自治会加入率の推移は。  
②仮称コミュニティFMこだいらの開設、活用が防災、地域活性化等となり得るが見解は。  
市長 ①平成26年度38・9%、平成27年度38・6%、平成28年度38・3%、平成29年度37・3%、平成30年度36・8%である。  
②立ち上げは考えていないが、先進自治体の取り組み等を踏まえ、事業者との連携のあり方を研究するとともに、近隣市にあるコミュニティFMとの災害時等の協定等も検討していく。



市内を流れる玉川上水